

あおりは新聞

10

(平成20年10月1日発行)

第 23 号

発行 介護老人保健施設
国立あおやぎ苑
リハビリテーション課
住所 国立市青柳 3-5-1
電話 042-526-5100
http://www.aoyagien.or.jp

ビバ リハビリ

リハビリテーションは当苑では極めて重要な部門の一つです。ベッドで終始横臥している方、歩行不能で車椅子で移動している方などそのままにしておくとう筋肉が萎縮して、ますます自立が出来なくなってしまいます。その時筋力を強化して、その衰えを防ぐのがリハビリの主たる目的です。したがってご本人がどれだけ熱心にリハビリを行うか、リハビリを行う側に立てばその動機づけを如何に上手にするかが重大な問題です。その上で各個人に適切なリハビリを作ります。

さらにそのプログラムを実際に行う際の技術の功拙も問題となります。幸い当苑ではリハビリ部門に優秀なスタッフが揃っていることで、以上のことが万全に行われていると自負しております。種々イベントの企画力にも優れていることは、憧れのハワイ航路をテーマにした音楽体操や納涼祭でのソーラン節の群舞などでよくご存知と思います。

皆様方が安心して喜んで益々リハビリに励んでいただき、我がスタッフのチームワークも良ければ、これにすぐる幸いはありません。

理事長 太田 怜

敬老会

9月13日3階ホールにて敬老会が行われました。ご長寿発表をさせて頂き、お祝いに演奏会を開きました。ソプラノ・アルト・テナー・バリトンサクソによる四重奏、ピアノとサクソとの奏で。そのやさしい音色と華やかな雰囲気にもまれた素敵なおとぎでした。演奏者の皆様ありがとうございました。

そしてこれからも皆様の益々のご健康をお祈り申し上げます。



医療法人社団あおやぎ会10年の変遷

医療法人社団国立あおやぎ会が設立されてから記念すべき10年が経ちました。10年の移り変わりをご紹介します。

平成10年10月	老人保健施設国立あおやぎ苑開設 入所定員130名 通所定員30名
平成11年6月 11月	入所定員変更136名 通所定員50名
平成13年1月	定員変更 入所146名 通所80名
4月	グループホームあおやぎの家開設 定員9名
平成14年4月	居宅介護支援事業所 富士見台介護相談センター事業開始
平成16年12月	介護老人保健施設 国立あおやぎ苑立川開設 入所定員148名 通所定員50名
平成17年1月	グループホーム 立川富士見町の家開設 定員9名
5月	谷保デイサービスセンター開設 定員15名
12月	居宅介護支援事業所 立川介護相談センター 事業開始
平成18年3月	国立あおやぎ苑 訪問リハビリテーション事業開始
12月	国立あおやぎ苑立川 訪問リハビリテーション事業開始
平成19年3月	ケアハウス 国立あおやぎ苑立川開設 定員50名

新入職員 退職者挨拶

理学療法士 秋山裕子
8月より入職致しました
秋山です。皆様の笑顔に出
会えるよう頑張ってお参りま
すのでどうぞよろしくお願
い致します。

リハビリ助手 片居木克昌
6ヶ月間お世話になりました。皆
様の笑顔を見ながら、リハ
ビリの仕事に関われたこと
を感謝しています。これか
ら皆さんがリハビリに励
まれて、益々元気になられ
るよう願っています。

<特集>

どうする日本!!



75歳以上の方から保険料天引き、医師不足による妊産婦受け入れ拒否、医療の地域偏在などなど日本医療の問題はさまざま。どこかにヒントがないか？先進国と言われているイギリスをのぞいてみることにします。

“揺りかごから墓場まで” “何だか聞いたことのある言葉。そう形容されたのがイギリスの医療福祉制度。医療費は税金でまかなわれているので、年齢・国籍・収入・居住する地域に関係なくただで医療費を受けられます。なんと観光客もただで医療を受けられるのです。この医療制度を1948年に発足。これは日本の国民皆保険が発足するよりも13年早く、当時いかに先進的で画期的なものであったか。

“揺りかごから墓場まで”と言われるようになった所以がここにあるようです。

はたしてそんな理想的な医療が本当に存在するのでしょうか？！

実はこの医療制度が施行された翌年から問題山積み。予想をはるかに上回る医療費は財政を圧迫し、医療現場では患者さんがあふれ待ちくたびれ…。

それでもかつて7つの海を股にかけた大英帝国の誇りと意地？

で医療費の自己負担ゼロは続くのですが、70年代の国の経済不振を背景に医療費支出の削減、処方箋などの一部有料化や民営化、質の低下、赤字病棟は閉鎖へ。医療スタッフ不足を解消するために海外から応援を要請も。ん！？どこかで聞いたことがあるような…。

近年イギリスは医療制度全体のマネジメント改善と医療費支出を増やし対応しているようですが、一朝一夕にはいかないのかな。かつて日の沈まない大英帝国とたたえられた国から日いずる国日本へのメッセージがここにあるようです。



作業療法士 植村真記

あおやぎ苑にスターが来たーツ

8月27日、ケツメリクガメのグレートさんとブラックさんが来苑されました。美しくがっちりとした甲羅、見た目とは違ったブニブニした両手両足。皆様は触ってみましたか？

ケツメリクガメは世界で2番目に大きい亀の種類。お肉は一切食べず植物（チンゲン菜、なす、きゅうり、バナナ、セロリなどなど）を食べています。水はほとんど飲まず、水分の多いキャベツ・レタス・リンゴから吸収するそうです。不思議なのはあの甲羅。甲羅の成長を促進するカルシウムの多い小松菜・ほうれん草をたくさん食べています。食欲大盛で1週間にお1人様あたり38キロの植物を食べているそうです。

グレートさん 御年35歳 男性 →

体重：65キロ

甲長（甲羅の長さ）：85センチ

趣味：子供たちを背中に乗せて散歩すること



止まることを知らず常に前進し続ける彼らの姿を見て、こうありがたい！こうでなければ！と引き締めた次第です。

← ブラックさん 御年18歳 男性

体重：35キロ

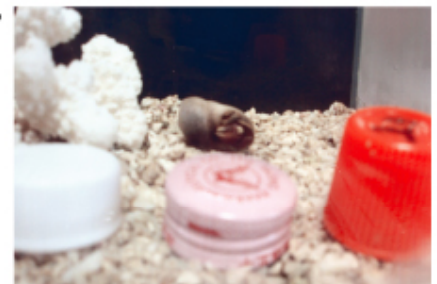
甲長：60センチ

好物：メロン

1度に5個は余裕でたいらげちゃいます



国立あおやぎ苑にヤドカリが仲間入りしました。最近歩く姿をあまりみせてくれません。周りの音に敏感になっているのか、宿が窮屈になり次の宿を捜しているのか…試しに引越し先を3つ準備してみました。



皆様はヤドカリがどの宿を選ぶと思いますか？

- ①プラスチックのキャップ
- ②アルミのキャップ
- ③のりのふた
- ④全く興味を示さない
- ⑤余計なお世話



?やどかりクイズ?